

全電源喪失の記憶

証言 福島第一原発

14

■第4章「東電の敗北」

3月15日午前4時すぎ、東京電力

社長の清水正孝(66)は、首相官邸と

階の応接室のテーブルで首相の菅直

人(64)と対峙していた。東電が福島

第一原発から撤退する意向だと聞か

された菅が清水を呼び出したのだ。

テーブルの両脇には経済産業相の

海江田万里(62)や原子力安全委員会

委員長の班目春樹(62)ら官邸で事故

対応に当たっている面々が居並び、

空気が張り詰めていた。

東電経営陣が作業員の退避を検討

し始めたのは約8時間半も前の14日

午後7時半ごろ、第一原発のオフサ

イトセンターにいた常務小森明生

(58)がテレビ会議で発した一言がき

説明不足の東電、官邸誤解

「撤退はあり得ない」



首相 菅直人
参院予算委に出席し、菅直人の清水正孝に一礼する
清水正孝 社長 ④=2011年4月18日

すと明言しなかった。海江田は「東電が原発から全面撤退する意向だ」と受け止め、清水からの相談を断り続けていた。

その海江田も、2号機の状況が悪化して15日午前3時すぎ、政権幹部を集め全面撤退への首相判断を仰ぐことを決めた。

海江田は執務室奥のソファで防災服姿のまま仮眠していた菅を起す

と状況を説明した。菅は即答した。「分かります」「すぐ本店に行く。準備はできているか」

菅は畳み掛けるように言った。「政府と東電の統合対策本部を東電本店につくる。どうだ、いいかい」

「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

菅は畳み掛けるように言った。「はい。撤退など考えておられますか」

で受け入れる手順が慌だしく決ま

っていた。「どこかで判断しないとすべ

くはないよ」

本店で副社長の武藤栄(60)が退避

計画の策定を指示。第一原発では所

長吉田昌郎(56)がバスの確保を指

示し、退避した社員を福島第二原発

どこに当たる最低限の要員を現場に残

退ながらあり得ないぞ」

菅は前置きもなく言った。「撤退を考

だ。(敬称略。年齢、肩書は当時。共同通信 太田久史)